

# NO! リニア

No. 1

2009年10月 1日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

経済性・技術信頼性・環境対応性はクリアーしていない

## リニア中央新幹線構想反対!

JR東海は、リニア中央新幹線（以下、「リニア」）の必要性として、①輸送力の限界、②老朽化・東海地震対策としてのバイパス、③時間短縮を上げています。その必要性は、現在そして将来的にわたっての問題なのでしょうか。リニアを建設した場合、JR東海が発展し、公共性が極めて高い鉄道事業を運営していけるのかといった検討は極めて重要なことです。

しかしJR東海は、リニアありきで政治的な背景をも利用しながら、「1県1駅」「建設ルート」など、うわべの議論をもって強引に進めようとしています。建設コストは本当に5,1兆円なのか、投資能力の限界を超えていないのか、需要はあるのか、建設後の経営状態など重大なことが、第三者も含めた客観的で徹底した事前の検討が全くありません。著名な経済学者は建設コストは10兆円を超える、2025年開業時点で原価償却費、支払い利息、固定資産などで年間約3000億円の赤字に転落すると試算しています。

私たち社員にとって、経営状態は極めて重要です。「経営方針は経営者が決めること」との傲慢な姿勢を傍観して良いのでしょうか。JR東海労は、2007年4月にJR東海がリニア構想を発表して以降、不明な点について解明の申し入れを行ってきましたが、「労働組合に説明する事案ではない」と、議論を拒否し続けています。

JR東海は2010年代の早い時期に建設工事を着工したいとしています。着工すれば中止は不可能です。リニアは全社員一人ひとりが考えていく課題です。なぜなら、会社の存亡・社員の雇用に関わることだからです。

JR東海労は、これからリニアの問題点についてシリーズで情報を発行していきます。みなさまから賛否さまざまな意見をお聞かせ下さい。

建設コスト10兆円、2025年3千億円の赤字転落!